

イデックスオイルレポート ~For a week~

株式会社新出光

【NY原油 概況】

●24日のWTI原油は、前日比0.29ドル安の61.5ドルとなった。
トランプ米大統領は今週、ロシア石油大手ロスネフチとルクオイルを制裁対象に指定した。英国はこれに先立ち、2社を制裁対象に指定。欧州連合（EU）は対ロシア制裁第19弾として、中国の製油会社や石油取引業者など4団体を新たな制裁対象に指定することが分かった。

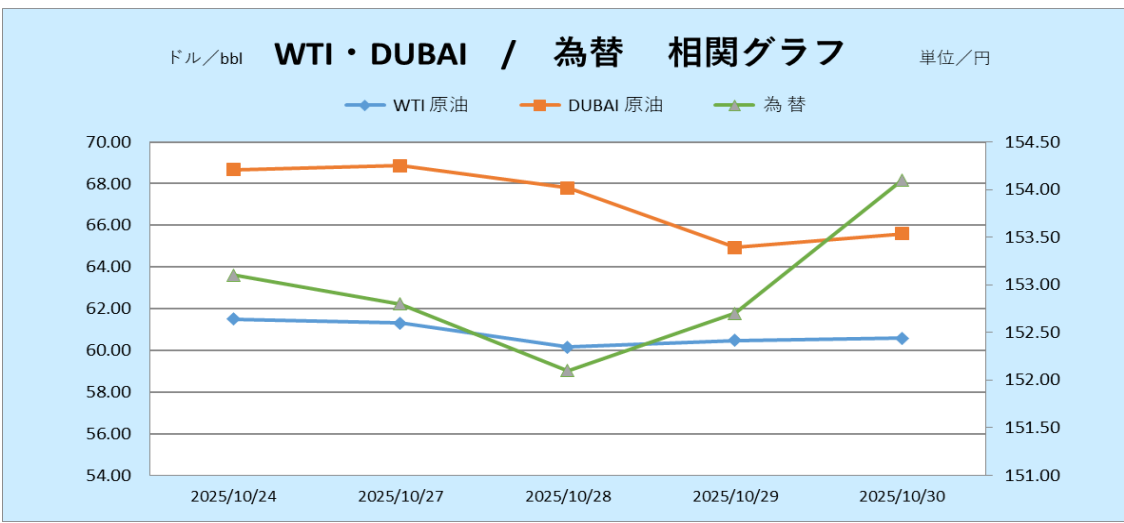
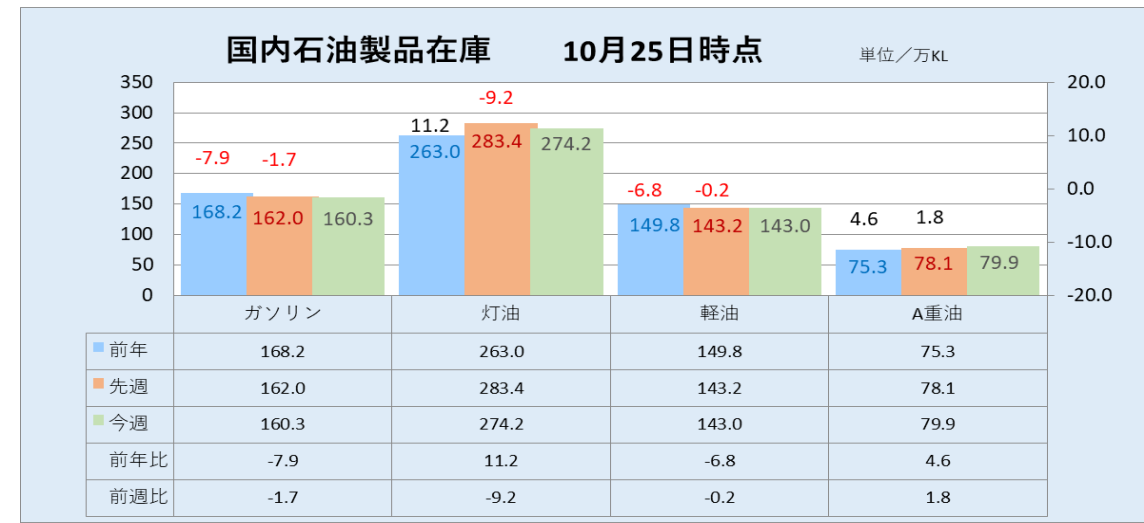
●27日のWTI原油は、前日比0.19ドル安の61.31ドルとなった。
米中両政府は26日、マレーシアのクアラルンプールでの2日間の閣僚級貿易協議を終えた。ベセント米財務長官は、30日に韓国で実施予定の米中首脳会談に向けた「枠組みができた」と記者団に表明。さらにベセント氏は同日、ABCテレビのインタビューで、11月1日から課すとしていた100%の対中関税について「回避される」と明らかにした。

●28日のWTI原油は、前日比1.16ドル安の60.15ドルとなった。
米政府がロスネフチのドイツ事業について、対ロ制裁の対象外にすると書面で保証したと明らかにした。ドイツ事業がロシアの管理下にないためという。また、米国が対ロ追加制裁を発動して以来、インドの製油業者がロシア産原油の新規購入を停止していると伝わった。このほか、国際エネルギー機関（IEA）のビロル事務局長は28日、過剰な生産能力により、石油輸出国に対する制裁の影響は限定的との見方を示した。

●29日のWTI原油は、前日比0.33ドル高の60.48ドルとなった。
米エネルギー情報局（EIA）が午前公表した週報によると、24日までの1週間の米原油在庫は前週比690万バレル減少。市場予想（ロイター通信調べ）の20万バレル減に比べ、大幅な取り崩しを示した。

●30日のWTI原油は、前日比0.09ドル高の60.57ドルとなった。
トランプ米大統領と中国の習近平国家主席は30日、韓国南部・釜山で会談した。中国政府は会談後、米国が問題していたレアアース（希土類）輸出規制の導入を1年間延期すると発表。トランプ氏は対中関税を10%引き下げる方針を示した。

10月31日	12:00現在	WTI原油	60.20ドル	為替 1ドル	155.10円
--------	---------	-------	---------	--------	---------



【次回価格変動予想】

ガソリン	➡	±0 ～ 0.5
灯油	➡	±0 ～ 0.5
軽油	➡	±0 ～ 0.5
A重油	➡	±0 ～ 0.5
LSA	➡	±0 ～ 0.5

※原油コスト「±0円～+0.5円」
※補助金（ガソリン・軽油）「10.0円」前週比±0円
※現時点での予測です。

【市況総括】

《今週》今週の元売り仕切り改定は、3社ともに原油コストは「+3.0円」、補助金は、「±0円」、都合「全油種 +3.0円」の改定となった。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの27日時点の小売価格平均は173.5円となっている。

《来週》次回の元売り改定は、原油コストは「±0円～+0.5円」、補助金は「±0円」で、都合「±0円～+0.5円」の改定予測となっている。

【次世代エネ コラム】 < 水素製造装置、レアメタル使用を4分の1に SCREENと東京ガス >

SCREENホールディングスと東京ガスは、水素発生装置の中核部品「触媒層付き電解質膜（CCM）」を共同開発し、10月から量産する。この新部品は、触媒に用いる高価なレアメタル（イリジウム）の使用量を、インクの均一分散技術により従来の4分の1に削減しつつ、水素生産効率も高める。SCREENは新聞の輪転機のような高速連続塗布技術を開発、生産速度を従来比20～100倍に引き上げ、大量生産を可能にした。このCCMの採用により、1ギガワット級の水電解装置コストを200億～400億円低減でき、水素価格も最大3%下げられると試算する。SCREENは滋賀県彦根市の工場に約110億円を投じて新棟を完成させ、年間7万枚体制で量産を開始、26年度末には能力を3倍に増強する。大型シート生産にも対応し、水素の生産コストをさらに引き下げる。水素製造コストが普及の課題となる中、日米欧が先行する高純度な水電解装置のコスト競争力を高め、欧州やオーストラリアにも供給、30年度までに水素関連事業で売上高100億円規模を目指す。